

【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と生活との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
これからの衣生活 【知識及び技能】 ・人生の節目の儀式などで被服を通して喜びや悲しみをあらわしてきたこと、それらが伝統行事として伝承されてきたことについて多角的に理解する。 ・計画的な購入と、できるだけ長く被服を着用することが大切であることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・伝統的な衣文化の特徴を理解し、これからの豊かな衣生活の創造に向けて行動する。 ・エシカルファッションに関心を持ち、持続可能な衣生活について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本の衣生活が、近年、どのような変遷をたどって現代に至っているか、特に洋風化・既製服化を理解するために意欲的に取り組む。 ・江戸時代の循環型衣生活に関心を持ち、現在の衣生活にその知恵をいかそうとする意欲を養う。	・衣文化の継承と創造 ・持続可能な衣生活	【知識・技能】 ・人生の節目の儀式などで被服を通して喜びや悲しみをあらわしてきたこと、それらが伝統行事として伝承されてきたことについて多角的に理解している。 ・計画的な購入と、できるだけ長く被服を着用することが大切であることを十分理解している。 【思考・判断・表現】 ・伝統的な衣文化の特徴を理解し、これからの豊かな衣生活の創造に向けて行動することができる。 ・エシカルファッションに関心を持ち、持続可能な衣生活について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本の衣生活が、近年、どのような変遷をたどって現代に至っているか、特に洋風化・既製服化を理解するために意欲的に取り組んでいる。 ・江戸時代の循環型衣生活に関心を持ち、現在の衣生活にその知恵をいかそうとする意欲を持っている。				
1学期 経済生活をつくる 【知識及び技能】 政府・企業・家計の間の経済的なかわり、およびそれぞれの役割を理解し、家庭経済および国民経済に関するしくみについて十分理解すること。 家計の破綻を防ぐためには、家計の収支を管理する必要があることを理解すること。 「家計簿の書き方」を身につけること。 【思考力、判断力、表現力等】 自分のプランニングした人生を送った場合、いつどのくらいの費用が発生するか考え、判断すること。 家計収支のバランスをとることの大切さ、可処分所得の意味について考えること。 中期・長期の観点から生活設計を立案するために考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 人の一生にかかる費用について関心を持ち、それを営むうえで実践的な態度を身につけること。 人の一生にかかる費用について関心を持つこと。 自分の将来について関心を持つこと。	・人生とお金 ・収入と支出のバランス ・将来の経済生活を考える	【知識・技能】 政府・企業・家計の間の経済的なかわり、およびそれぞれの役割を理解し、家庭経済および国民経済に関するしくみについて十分理解している。 家計の破綻を防ぐためには、家計の収支を管理する必要があることを理解している。 「家計簿の書き方」を身につけている。 【思考・判断・表現】 自分のプランニングした人生を送った場合、いつどのくらいの費用が発生するか考え、判断することができる。 家計収支のバランスをとることの大切さ、可処分所得の意味について考えている。 中期・長期の観点から生活設計を立案するために考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 人の一生にかかる費用について関心を持ち、それを営むうえで実践的な態度を身につけている。 人の一生にかかる費用について関心を持っている。 自分の将来について関心を持っている。	○	○	○	29
	定期テスト		○	○		

	<p>衣生活をつくる</p> <p>【知識及び技能】 衣生活の充実・向上のための知識を身につけ、被服のTPOをわきまえること。 被服の多様化に対して、自分らしい衣生活を維持・向上していくこと。 繊維→糸→織物・編物という加工過程、および繊維の種類と特徴について十分理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 若い人から高齢者まで各年齢層にふさわしい被服について多面的に思考・判断すること。 いろいろな場面にふさわしい素材や布の種類を多面的に考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 異なる年齢の人の衣生活に関心を持ち、その違いや特徴について知ろうとする意欲を養う。 被服材料に着目し、何を材料にするかによって、また、「織り方」「編み方」によって外観や性能が異なってくることに関心を持ち、衣生活に活かそうとすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちと衣生活 ・被服の素材 	<p>【知識・技能】 衣生活の充実・向上のための知識を身につけ、被服のTPOをわきまえている。 被服の多様化に対して、自分らしい衣生活を維持・向上していくことができる。 繊維→糸→織物・編物という加工過程、および繊維の種類と特徴について十分理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 若い人から高齢者まで各年齢層にふさわしい被服について多面的に思考・判断できる。 いろいろな場面にふさわしい素材や布の種類を多面的に考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 異なる年齢の人の衣生活に関心を持ち、その違いや特徴について知ろうとする意欲が見られる。 被服材料に着目し、何を材料にするかによって、また、「織り方」「編み方」によって外観や性能が異なってくることに関心を持ち、衣生活に活かそうとしている。</p>				
2 学 期	<p>充実した生涯へ</p> <p>【知識及び技能】 ・高齢化が急速に進むと、家庭生活においても、社会生活においてもさまざまな課題が生じることが理解する。 ・高齢者の身体的機能の特徴を理解する。 ・長年つちかかってきた豊かな経験と知識・技能をいかして働くことのできる環境づくりが欠かせないことを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢化が進んでいる実態を把握し、その原因と課題を探る。 ・高齢者体験などの試みを通して、高齢者の気持ち・立場を理解する。 ・生活経験の豊かな高齢者の話に耳を傾ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・高齢者の生活に関心を持つ。 ・加齢にともなう身体状況の変化に関心を持つ。 ・高齢化を自分自身の問題としてとらえる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・超高齢社会を生きる ・人生のなかで高齢期をとらえる ・高齢期の生活 	<p>【知識・技能】 ・高齢化が急速に進むと、家庭生活においても、社会生活においてもさまざまな課題が生じることが理解できている。 ・高齢者の身体的機能の特徴を理解できている。 ・長年つちかかってきた豊かな経験と知識・技能をいかして働くことのできる環境づくりが欠かせないことを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・高齢化が進んでいる実態を把握し、その原因と課題を探ることができる。 ・高齢者体験などの試みを通して、高齢者の気持ち・立場を理解できる。 ・生活経験の豊かな高齢者の話に耳を傾けることができている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・高齢者の生活に関心を持っている。 ・加齢にともなう身体状況の変化に関心を持っている。 ・高齢化を自分自身の問題としてとらえている。</p>	○	○	○	34
		定期テスト		○	○		

3 学 期	<p>次世代をはぐくむ</p> <p>【知識及び技能】 新しい命は、社会の一員としてもかけがえのない存在であることが理解すること。 乳幼児期での、運動機能面のいちじるしい発達について理解すること。 子どもが健康でたくましく育つためには、家族・家庭のもとの保育環境が重要であることを認識すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 子どもを生み育てることの意義について理解すること。 自分の子どもころの様子を調べること。 乳幼児期における育て方が、その後の子どもの発達に大きな影響をおよぼすことを視野に入れること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 女性の場合は将来の出産に備えて、男性の場合は母性を保護する立場から、妊娠の成立や母体の変化への関心を持つこと。 子どもの体の発育・発達に関心を持つこと。 子どもを育てるとき、日常生活の中でどう接していけばよいかということに関心を持つこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代をはぐくむ ・子供の発達 ・子供の生活 	<p>【知識・技能】 新しい命は、社会の一員としてもかけがえのない存在であることが理解できている。 乳幼児期での、運動機能面のいちじるしい発達について理解している。 子どもが健康でたくましく育つためには、家族・家庭のもとの保育環境が重要であることを認識している。</p> <p>【思考・判断・表現】 子どもを生み育てることの意義について理解できている。 自分の子どもころの様子を調べることができる。 乳幼児期における育て方が、その後の子どもの発達に大きな影響をおよぼすことを視野に入れている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 女性の場合は将来の出産に備えて、男性の場合は母性を保護する立場から、妊娠の成立や母体の変化への関心を持っている。 子どもの体の発育・発達に関心を持っている。 子どもを育てるとき、日常生活の中でどう接していけばよいかということに関心を持っている。</p>	○	○	○	15
	<p>食生活をデザインする</p> <p>【知識及び技能】 ・1日にどの栄養素をどれだけ摂取すればよいか、理解する。 ・食品群の考え方に立って、食品構成を考える。 ・家庭生活での食事の意義や役割を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・私たちの体をつくる「栄養素」と活動に必要な「エネルギー」との違いを考察する。 ・家族の性、年齢、身体活動レベルに応じた摂取量のめやすから、家族の食生活の課題に気づく。 ・家族それぞれの栄養と嗜好を知る。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・1日にどれくらいのエネルギーと栄養をとるのが適切か、日常から関心を持つ。 ・いろいろな年齢に配慮した食事づくりの工夫に関する意欲を養う。 ・いろいろな年齢に配慮した食事づくりの工夫について、提案する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養バランスのよい食事 ・食品群と摂取量のめやす ・ライフステージと食事 	<p>【知識・技能】 ・1日にどの栄養素をどれだけ摂取すればよいか、理解している。 ・食品群の考え方に立って、食品構成を考察することができる。 ・家庭生活での食事の意義や役割を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・私たちの体をつくる「栄養素」と活動に必要な「エネルギー」との違いを考察できている。 ・家族の性、年齢、身体活動レベルに応じた摂取量のめやすから、家族の食生活の課題に気づくことができる。 ・家族それぞれの栄養と嗜好を知っている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・1日にどれくらいのエネルギーと栄養をとるのが適切か、日常から関心を持っている。 ・いろいろな年齢に配慮した食事づくりの工夫に関する意欲が高まっている。 ・いろいろな年齢に配慮した食事づくりの工夫について、提案できる。</p>				
							合計
							78